

川崎競馬倶楽部

15th ANNIVERSARY

<http://www.kawasakikeiba.com>

since1990

〒212-0002 川崎市幸区小向仲野町15-4 川崎競馬倶楽部

2006年7月②号

川崎競馬 2歳馬特集 ③

* 鈴木敏一厩舎 *

カサイクイン
3月1日 牝
父コマンダーインチーフ
母ビッグラブ



小柄ではあるが、走り具合がいい。8月の能力試験を予定。

カトリート
4月4日 牝
父ジェニユイン
母タヤスアクトレス



飼い葉もよく食べるし体も大きく期待。状態を見ながらゆっくりデビューさせる。

サイレントリリー
4月11日 牝
父カリスタグローリー
母リハクタンズ



道営から来たので乗り込み量も豊富。今回の能力試験の予定。デビューが一番早そう。

スガノキャプテン
3月20日 牡
父キャプテンステイヴ
母ダイヤモンドラブ



素直で調教でも乗りやすい。晩成型かもしれない。

タカミフェリーチェ
4月15日 牝
父ウェイオブライト
母コンサートガリバー



音に敏感なところはあるが普段は素直で大人しい。次回の能力試験を受ける予定。

ワンダウエーブ
4月20日 牝
父ヒシアケボノ
母タイニータイタニア



晩成血統。順調にいけば8月末位にデビューできそう。

* 武井栄一厩舎 *

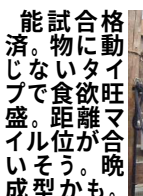
7月デビュー予定。気性の幼さ残るがカイバ食いもよく精神面成長すれば素質あり。



アライワジョー
4月9日 牡
父イシノサンデー
母インターオアシス

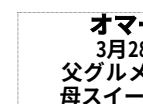
エスプリドナルド
3月14日 牡
父バブルガムフェロー
母ゴールデンコロニー

新馬戦は急遽乗替りで2着。距離延びた方がよく次走に期待。気性面幼いが素質十分。



能試合格。物に動じないタイプで食欲旺盛。距離マイル位が合いそう。晩成型かも。

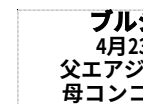
エスプリビル
4月12日 牡
父サッカーボーイ
母ケイエフキセキ



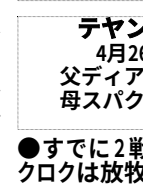
すでにデビュー済。馬体よく見栄える。力はあるが少しゲートが苦手。前向きな性格。



キヨタカヒロ
4月16日 牡
父スキャターザゴールド
母カナディアンブルー



気性大人しい。今はソエが出ているのでデビューはまだ先になりそう。



ブルシェル
4月23日 牡
父エアジハード
母コンコースクイーン

●すでに2戦したルートロクロは放牧休養中。

テヤンサラン
4月26日 牝
父ディアブロ
母スパラル

* 田島寿一厩舎 *

ビバブルーヘブン
3月15日 牝
父スキャン
母ソーシャルスタンス



レース後軽いササ針して休養中。8月から乗り出せば。砂被ってもOK。距離延びていいタイプ。

ビバワイルドワン
4月5日 牡
父 オジジャン
母 ミスコンバット

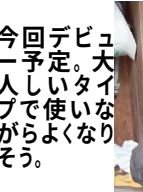


関節炎で厩舎で休養。まだ堅い面あるが素質十分。

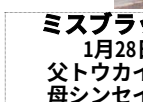
●そのほかキンググローリアス産駒のサモンジャー(8月能試予定)はまだ成長段階だがパワー型でケイコ内容も軽さが出てきている。

* 田辺陽一厩舎 *

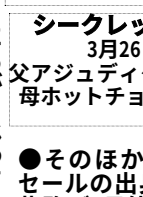
臆病でまだ子供っぽい面ある。7月末か8月の能試予定。



シェアインパルス
4月24日 牡
父キングヘイロー
母サンキョウヒート



まだ脚元に不安もあるが背中が柔らかく、能力が感じられる。ゆっくり使っていく。



ミスブラックアイ
1月28日 牝
父トウカイテイオー
母シンセイグループ

●そのほかトレーニングセールの出身のバチアー牝駒が8月能試予定。

岡村裕基、沖野耕二騎手引退

岡村裕基ジョッキー、沖野耕二ジョッキーが今開催でラストランを迎える。

デビューから20年の節目に引退を決意した岡村裕基騎手。「馬以外の仕事もやってみたい。なにか自分で事業をしたい。そういう気持ちが前からあった」のだという。「向正面でビューとハナに立ってそのままだった」と2戦目での初勝利が昨日のことのようだと語る。同期には今をトキメク内田博幸騎手がいるが全日本新人王に南関東代表として出場し見事優勝したのは岡村騎手だった。

20年を振り返ってもらった。「オートメンデスで同着優勝だったスパーキングレディーCはもちろんだが、自分は超穴配当に縁があった(笑)。初夢特別でコスモフレイズ(12番人気)で勝ったときは500万馬券(的中者1票)。800万馬券が出たときは自分の馬がグリグリ一番人気だったのにスタート直後にまさかの落馬(笑)。それからね、20年乗っていて調教でもレースでもケガで入院したことが一度もない。これは騎手として幸運だったと思う」。

ムチを置いた後のことは未定だが、騎手会長として重責を果たし終えた今、次なるステップを目指す姿にエールを贈りたい。



沖野耕二騎手は言わずと知れた益田の名手であり、競馬場廃止後川崎に移籍して02年12月23日には2000勝の偉業を達成した。

減量との闘い、騎乗数の減少など葛藤の末、厩務員(河津厩舎)への転向を決意。

「長いようで短かったが悔いはない。南関東に来て唯一勝てずにいた浦和で勝つことができた。4場クリアしたことで気持ちにひと区切りがついた」という。「これまでは乗ることしか知らなかった。今度は厩務員として馬を仕上げる喜びがある。奥が深いよね」と馬づくりにやりがいを見いだす。

騎手として制した重賞は25タイトル(益田・中津・佐賀)。「南関東では重賞獲れなかったから厩務員として目指したい。3年くらいしたらまた乗りたいって、戻ってくるかもしれないよ」。

川崎で相次ぐジョッキーの引退。今回2名の引退で16名になってしまう川崎ジョッキーズ(1999年には32名在籍)。今野忠成会長のもと新体制で打ち出す打開策に期待するばかりです。ジョッキーは競走馬と共に「競馬の華」であるはずですよ。

川崎競馬夏まつり2006

7月23日(日)
12時半~20時



川崎競馬場内馬場

☆終日入場無料です☆

- * 佐々木竹見トークショー<19:00頃>
- * カツマルくんと遊ぼう(随時)
- * オープン競馬教室<16:00頃~20:00頃>
- * ゼッケンオークション
- * ホタルの館<12:30~20:00>
- * ファミリー縁日<12:30~20:00>
- * ミニSL広場<12:30~20:00>
- * ポニーランド<12:30~20:00>
- * ディスクドッグデモ<13:00~15:00>
- * フェイスペインティング<12:30~20:00>
- * 音楽のまち・かわさきサマーコンサート<12:35~15:00頃>

田村豫志雄厩舎

ビバダンスパレード
3月26日 牝
父 トウカイテイオー
母 トウカイキャンドル

すでにデビュー済み。
普段から大人しく食欲も旺盛。調教も
素直で、長い距離もこなせそう。まだ
太め残りの分成長が楽しみ。調教で
もスピードが上がるとグンと体が下が
る感じ。兄弟の中でも一番やさそう。
※梅山厩舎からアイエスドラードが転
厩しています。

津久井巖厩舎

ラブスブラッシュ
3月24日 牡
父 タバスコキャット
母 パローニアクレスト

母13勝と血統からも期待。
デビューは馬体絞れてから。

コウノパワフル
4月23日 牝
父 ウイニングチケット
母 リンドウジョー

●もう一頭コウノピロニール
は動き素軽く今回能試。

照沼一二厩舎

カネショウバナナ
4月15日 牝
父 カコイーシーズ
母 カネショウベガ

今回デビュー予定。馬
体が柔かく気性素直。

カネショウパパ
4月30日 牡
父 スターオブコジーン
母 カネショウレグナム

使いながら良さが出
そうなタイプ。

カネショウハート
3月27日 牡
父 キングヘイロー
母 カネショウローズ

2歳にしてはドン落ち着
きある。馬体素軽く今回
能試。

カネショウイチゴ
4月4日 牝
父 コマンダーインチーフ
母 カネショウエミーナ

ヤンチャでまだ気性面幼
い。

遠征の記録

7月9日京都競馬場で行われた第11回プロキオンステークス(G IIIダート 1400m)にロッキアーピール(山崎尋美厩舎 8歳)が参戦した。
1枠好スタートから先行位につけたが3コーナーでは早くも後退。15着という結果だった。

「前で競馬をしたいと思っていたんですが、最初の芝の部分でスピードが乗らなかった。モマれない競馬ができればよかったんですけど1枠ということでもういけませんでした。年齢的なこともあるし、さすがに暑い中での遠征は堪えたのかもしれない。返し馬の時点でなんだか元気がないな、と感じていました」と山崎誠士騎手。
このあとはサンタアニタトロフィーとのことだが、状態を見ながらで出否は未定。

7月8日福島競馬第9レース三陸特別(3歳上 500万下ダート 1700m)にティーケーニケ(八木正雄厩舎)、エフケービージェイ(八木仁厩舎)が出走。

石崎隆之騎手を鞍上に最後方を進むかたちになったティーケーニケは14着。
7番人気に推されたエフケービージェイには酒井忍騎手が騎乗したが、「スタートから外へ外へと逃げようとしてしまって・・・。まったくこの馬の良さを出すことができませんでした。普段の調教などでもこんなことはありませんから、初めての馬場を気にしたんじゃないかな・・・」とレースにならず、スルズル失速し結果15着。

2006川崎競馬スーパーPOG参加者募集中!

詳しくは <http://www.kawasakikeiba.com> をご覧ください。

ポイントカードでペア指定席などの特典があります。

◎◎▲△おつかれさま▲△◎◎ 平成18年6月退厩馬				
厩舎	馬名	性	年齢	退厩先
鈴木敏	神奈川 乗馬			
秋山	トウルードリームス	牡	3	茨城県 乗馬
照沼	アルディラ	牝	4	北海道 乗馬
山崎	04カネショウセレナ	牡	2	東京都 乗馬
田島	トライワンスラック	牡	7	神奈川県 乗馬
佐々吉	04リリダミタ	牝	2	神奈川県 乗馬
福島幸	エンジェルハピネス	牝	5	佐賀県 乗馬
武井	ゴーランズロット	牡	4	茨城県 乗馬
佐々仁	ナヴィーズバスター	牡	5	神奈川県 乗馬
村田	エプソムリパティ	牡	6	栃木県 乗馬
秋山	アカシマテイオー	牡	4	福島県 乗馬
秋山	ルプリーズ	牡	5	福島県 乗馬
山崎	04ウラカワメロディー	牡	2	石川県 乗馬
山田正	イルデバン	牡	6	群馬県 乗馬
佐々吉	ナインポイントワン	牝	4	群馬県 乗馬
武井	カタズオノンデ	牝	5	北海道 乗馬
大和明	イシノブライアン	牡	9	群馬県 乗馬
山崎	レイフルマン	牡	7	福島県 乗馬
三橋	ベルモントバーディ	牝	6	兵庫県 乗馬
	センチュリーホース	牝	5	神奈川県 乗馬

◆◇HAPPY BIRTHDAY 7月生まれ◆◇

- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| 太田義広厩務員(1日) | 茂木浩幸厩務員(1日) | 内藤智則厩務員(4日) |
| 八木正喜調教師(8日) | 佐藤浩美厩務員(8日) | 遠野吉春厩務員(8日) |
| 横山悟厩務員(9日) | 清水太一厩務員(10日) | 長友豊厩務員(11日) |
| 佐藤賢三厩務員(12日) | 荻原勇厩務員(15日) | 上玉利巳敏厩務員(15日) |
| 佐藤強厩務員(15日) | 広木政雄厩務員(15日) | 高橋克己厩務員(16日) |
| 清水孝泰厩務員(19日) | 池田富士夫厩務員(21日) | 大沼秀男厩務員(23日) |
| 田上昌浩厩務員(26日) | 船山三郎厩務員(27日) | 津久井巖調教師(28日) |
| 前田悦弘厩務員(28日) | 山崎誠士騎手(29日) | 本田宗幸厩務員(29日) |
| 酒井正男厩務員(30日) | 甲斐勝也厩務員(31日) | |

★ 遠野 吉春 厩務員 <池田孝厩舎> ★

8日で50歳の誕生日を迎えた『チョーさん』こと遠野吉春厩務員。池田厩舎のチームカラー「赤」とニットキャップがばっちり決まったナイスガイです!

日高出身の遠野厩務員。実家は炭焼きをしていたが、知り合いが牧場長だったことから馬の世界へ。厩務員としての出発点は川崎だったという。

途中板金屋に見習いに入ったこともあったが、やはり馬が好きで道営競馬に。この時の同僚が現在調教師となっている池田師という深い縁。再び川崎に戻ってから開業以来片腕となって池田師を支えている。

忘れられない馬はたくさんいるが、中でも印象深いのは勝又厩舎時代のオカダオー。「駆け出しでガムシャラだった頃だね。3歳(現在でいう2歳)から活躍した馬で、全日本優駿では4着。このとき主戦の竹島騎手のお手馬が重なって竹見さんになったんだけど、癖馬だったからいきなり乗りこなすのは難しかったんだろな・・・ってさ。それから・・・ヤマノジェネラスだね。本当にもったいなかった。自分で仕掛けどころを知ってる利口な馬で、故障したときは早めに引っ掛かっていつもと違って。運命なのかな・・・」。道営から期待を集めて移籍したヤマノジェネラスは02ダイオライト記念で競走中止した。

「牝馬の方が好きだなあ。女の子が好きってのもあるけど(笑)、やりやすいし、エサ食いでも工夫しがいがある。夏にも強く大崩れないからね」と現在の担当馬はライトベロシティとデビュー前の2歳ピーナスプレゼントいずれも牝馬。「ピーナスプレゼントは今回能試で8月にデビューするから注目して!小柄なのに大きく見せる馬だから」。

*** staff room ***

●キャニオンロマンの再々起にはひたすら感服ですが、パレガルニエ道営で復活のニュースにもたまげた。考えてみたらパレガルニエってまだ6歳のよな。デビューから4連勝で東京2歳優駿牝馬勝ったり早くから活躍して、中央移籍したと思ったら障害飛んでるし。船橋にいったん入ったこともあったし(出走はしてないけど)。んで、一年以上休んで今回の復活劇。とにかく見守りませう。

●今回紹介した武井厩舎のエスプリドナルド。バブルガムフェローの産駒です。武井厩舎でバブル産駒という今は中央でがんばっているビービーバーニングが浮かびますがガーッと前にいってしまう彼女とは違い、とても従順な男の子です。サンデーサイレンスの血統はなんとなく気難しいイメージがあるのですがバブルガムフェローはサンデーサイレンスの中ではおとなしいのだそうです。ちなみにドナルドくん、母父はゴールデンフェザント。エスプリフェザントと同じ。単純な考えですが大きいところをとってくれるのではと思わず期待してしまいます。こういった血統の楽しみもまた競馬の醍醐味ですね。

●田辺厩舎で2歳馬を取材していたときの事。ふと視線を感じて振り返ると、栗毛に流星の可愛い馬と目が合いました。あまりに可愛いので、厩務員さんにその馬の名前を尋ねると「シェアオペラ」との答え。以前引き馬をしているときに綺麗な栗毛とすれ違って、やはり馬の名前を覚えてもらったところ「シェアオペラ」と言われた事を思い出してしまいました。でももう大丈夫。どこで会ってもわかるくらいしっかり顔を覚えましたから。

●先日またまグリーンチャンネルをつけたら、当歳のセリが行われてました。ほんの数カ月前に産まれたまだまだあどけない顔をした馬たちが、数年後には競走馬として競馬場で走ってるんだなあ～と思いながらテレビを見ていました。ここに掲載されてる馬たちも、そんな時期があったんですよ～なんて、思わず親みたい気持ちになっちゃいました(^_^)